フェムテックを活用した就労女性の健康支援に関する研究



人間看護学部　人間看護学科　　講師　　松原　千晴
研究分野：生涯発達看護学　助産学

女性の健康への取り組みは、リプロダクティブ・ヘルス／ライツ推進の観点に加えて、社会経済的な損失の抑制という観点からも重要です。就労女性自身が、生涯にわたりwell-beingを高められる包括的な支援を探求しています。

■就労女性の包括的健康支援システムの構築に関する研究

・近年、少子高齢化により将来的な労働力不足が懸念されていることを背景に、働く女性の活躍への期待はますます高まっています。一方で、女性は、ライフステージごとに様々な健康課題を抱えています。性成熟期の女性では、女性特有の疾患・症状である月経随伴症状、月経困難症など月経に関連した健康問題が散在しています。これらの健康問題は、日常生活の負担も大きく、労働生産性や就業継続への影響もあるため、見過ごすことのできない課題と考えられます。

ここ数年、ICT（情報通信技術）の活用が広がりをみせており、様々な就労環境におかれる女性に対して包括的な支援が行えるようにICTを用いた健康教育プログラムの開発に取り組んでいます。

今後も、社会における女性の活躍推進に関わる健康課題に対して、包括的な健康支援システムを構築するという視点から問題解決を目指した研究に取り組んでいきます。